



わくわく館年齢別カリキュラム 親子で参加！ミニ運動会開催！

子育て支援センターわくわく館では、10月に3週間にわたって年齢別カリキュラムでミニ運動会が開催されました。

10月11日には、走れる子たち「うさぎさん」で12組の親子が参加しました。みんなで体操をしたあと、かけっこや玉入れ、サイコロリレーなど10種類の競技が行われました。

運動会終了後、ご褒美にもらったメダルにお母さんからのメッセージを書いてもらい、自分だけのメダルを首にかけて、とても嬉しそうに記念撮影をしていました。



厚賀一致会自主防災組織連絡協議会 津波を想定した避難訓練を実施

10月6日、厚賀一致会自主防災組織連絡協議会主催による、津波を想定した避難訓練が実施されました。

厚賀地区全域を対象とした避難訓練は初めての取り組みで、約60名の方が訓練に参加されました。避難訓練のほか、女性部による炊き出し訓練も行われ、訓練後には課題検討会も行われました。検討会では、避難時の改善点などについて活発な議論が交わされ、有意義な訓練となりました。



富川交通安全協会・富川自治区連合会による寄附 安心・安全なまちづくりのシンボル設置を！

10月28日、富川交通安全協会(会長 田中建夫)様が480万円、富川自治区連合会(会長 宮越隆雄)様が100万円を町へ寄附されました。

両団体は、「富川中心部に位置する国道237号と国道235号の交差点は、交通量も多く小学校への通学児童等も多いため、造成中の富川市街地ポケットパークへ、交通安全と住民の安心・安全を願い、まちのシンボルとなるモニュメントを設置して欲しい。」と話され、町長は「目的に沿う形で使わせていただきます。」とお礼を述べました。



日高町商工会青年部主催 恋来フェスティバル開催！

10月19日、「新たな出会いの場の創出」と「地域の活性化」を趣旨として日高町商工会青年部主催、街コン事業「恋来フェスティバル」が行われました。

町内外から30名の男女が参加。食事を楽しんだ後、別の会場へ移って、気になる異性との会話を弾ませていました。

イベントは終始盛り上がり、9組のカップルが成立し、記念品がプレゼントされました。



門別本町地区で防災訓練 地震による大津波を想定

10月29日、門別本町地区において地震・津波を想定した防災訓練が行われ、約160名が参加しました。

防災無線や消防広報車による呼びかけに、指定避難場所の優駿学園や門別自然公園、門別中学校へ徒歩や車にて避難しました。2次避難場所の門別公民館では、閉会式が行われ、佐藤副町長より「避難経路を把握され、速やかに避難が出来ていた」と講評がありました。

ボランティア連絡協議会による炊き出し訓練も行われ、北海道コカ・コーラボトリング(株)様提供の飲料水と合わせて参加者に配られました。



株式会社ハタナカ昭和様より寄附 まちづくりに役立てて

10月28日、株式会社ハタナカ昭和(社長 畑中修平)様がまちづくり推進のため町へ100万円を寄附されました。

株式会社ハタナカ昭和(本社・留萌)様は創立50周年を迎えられたのを記念して、同社の拠点所在地の自治体へ寄附を行い、この日は日高三岩かんらん岩採石場所在地である日高町のためにと役場を訪れ寄附金を町長に手渡しました。

畑中社長は「今後のまちづくりに役立てて欲しい。」と話され、三輪町長は「有効に活用させていただきます。」とお礼を述べました。



日高町将棋クラブ 将棋で遊ぼう会！開催！

11月2日、平成25年度文化祭の開催にあわせて日高町将棋クラブによる小中学生を中心にした「将棋で遊ぼう会」が富川公会堂で開催されました。

この日、集まった子どもたちは将棋クラブの会員からルールや駒の動かし方などを教えてもらったり、小中学生同士や大人との対戦を楽しんでいました。



平成25年度「文化祭」 発表や展示を町内4地区で開催

日高町文化協会主催による文化祭が、町内4地区の会場で開催されました。

文化祭は、毎年「展示の部」と「発表の部」に分けて開催され、各会場は多くの来場者で賑わっていました。

11月1日から開催された門別地区の展示の部では、日高西部消防組合日高消防団が有効活用者を募集していた、使用しなくなった刺子(さしこ)を再利用して作られた防災頭巾などがありました。永きに亘り消防団員の身体を守ってきた刺子が、形を変えて新しい防火・防災用品として生まれ変わっていました。